



答

申

議会改革検討協議会において、検討協議を行った結果について
取りまとめましたので、別紙のとおり答申します。

令和6年12月9日

山口県議会議長 柳 居 俊 学 様

議会改革検討協議会

会長 高 瀬 利 也

議会改革検討協議会では、令和5年6月の設置以降、各会派から提案がなされた項目のうち、早期に取り組むために今年度中に着手すべき項目について、様々な協議を重ね、以下のとおり検討結果を取りまとめた。

1 県議会棟のバリアフリー対策の推進

当事者の意見を踏まえたバリアフリー対策を進めるため、障害者団体による現地調査を行った結果得られた改善すべき事項計21件について、改善の難易度や必要な経費等を考慮し、次のとおり対応時期の見通しを設け、計画的に改善を図っていくことが適当である。（改善すべき事項及び対策案は別添のとおり）

特に、トイレの改修に関しては、障害者団体からも強い要望があり、また、良好な執務環境を確保するためにも、早急な改善が必要であり、可能な限り早期に対応されるべきである。

対応時期	件数	主な改善すべき事項
短期（早急な対応が可能と考えられるもの）	4	・視覚障害者等に対するサポート ・議会施設設備等のホームページ公開
中期（来年度以降の予算確保を通じ対応するもの）	7	・障害者用トイレの改修 ・洋式トイレへの改修 ・車寄部分への障害者用駐車場の確保
長期（将来的な整備計画等により対応を検討するもの）	10	・エレベーターの大型化 ・議場内の傾斜の緩和

2 県議会のDX推進

社会のデジタル化が進む中、県議会としてもデジタル技術を積極的に活用することとし、議会の活性化や開かれた議会の実現に向けて、次のとおり取り組むことが適当である。

○AI音声認識システムの導入

高齢や障害等で音声聞き取りにくい方に向けて、インターネット中継での字幕を付した配信や、傍聴席に設置したモニターに議場等の発言内容の表示が可能となる、AI音声認識システムを導入する。

県議会棟のバリアフリー対策に向け改善すべき事項

1 短期（早急な対応が可能と考えられるもの） 4件

施設名	意見	対策案
全般	視覚障害者が、音声による誘導が受けられるとよい	受付（人）によるサポート
全般	障害がある方は、事前に訪れる施設の設備等を調べる方が多いため、設置設備や位置等をネットに掲載するとよい	議会ホームページへ設備等を掲載する
全般	各階の案内板（図面）に、設備等がどこにあるかわかりやすく表示してほしい	案内図へ設備等をわかりやすく表示
事務室	来局者用の机の下に棚があるため、車椅子が机の下に入らず、支障となる	一部に棚のないものの購入を検討

2 中期（来年度以降の予算確保を通じ対応するもの） 7件

施設名	意見	対策案
車寄	議会棟正面玄関付近の車寄の場所の一部を障害者用駐車場として利用できるとよい	駐車場ライン施工（身障者マーク含む）
エントランスホール	待合所の椅子に背もたれがないため、一部は背もたれがあるものを設置するとよい	背もたれ付きの椅子の購入を検討
障害者等用トイレ	便器等の形式が古く使いづらい	改修を検討
その他トイレ	洋式トイレがない箇所がある（1、6階、地下なし）	改修を検討
2階廊下（事務室前）	照明が暗い	電灯のLED化を検討
傍聴席	傍聴席前の手すり（柵）の高さが低い	手すり（柵）の付替えについて検討
全般	バリアフリー対策全般として、施設・設備の改修という手法に加え、人が対応することで補えるものであれば、人による対応も検討するとよい	人による案内等による対応を検討

3 長期（将来的な整備計画等により対応を検討するもの）10件

施設名	意見	対策案
エレベーター	エレベーター内が狭く、車椅子で回転できない	庁舎の建替時等に対応を検討
階段	手すりは左右両側に設置することが基本だが、片側しか設置されていない	各階への移動手段として、エレベーターがあることから、必要性を検討
議場	演壇に上がるスロープの傾斜がきつい	庁舎の建替時等に対応を検討
議場	議場内（議員席側）のスロープの傾斜がきつい	庁舎の建替時等に対応を検討
議場	傾斜部分を視覚により認識できるように床（絨毯）を色違いとするなどが考えられる	庁舎の建替時等に対応を検討
議場	参与員席のスペースが狭い	庁舎の建替時等に対応を検討
傍聴席 階段	階段が急である	庁舎の建替時等に対応を検討
各委員会 会室	収容人数に対してスペースが狭い	庁舎の建替時等に対応を検討
全般	各出入口について、車椅子利用者は、開き戸ではなく、自動ドアまたは引き戸が利用しやすい	庁舎の建替時等に対応を検討
全般	床の絨毯は、車椅子使用者では力が必要となり、視覚障害者の白杖が引っかかる可能性がある	庁舎の建替時等に対応を検討